2013年度　決算説明資料

（自　2013年4月1日　至　2014年3月31日）

株式会社 デイ・シイ

2013年度　決算　概要

川崎工場

事業セグメント別売上高・経常利益

単位：百万円

	売上高		経常利益	
事業名	13年度	対前年度（%）	13年度	対前年度（%）
セメント関連	11,887	105.4	874	153.8
資源	9,060	100.6	337	188.2
環境	4,606	102.3	508	173.9
生コンクリート	9,788	103.7	▲51	-
不動産	818	107.4	381	108.8
住生活	3,229	114.4	▲93	-
合計	39,392	104.2	1,968	149.8

セグメント別事業概要

◇セメント関連事業

- ➢首都圏での需要増による生産・販売数量の増加
- ➢製造原価の低減や安定運転のための製造設備更新

◇資源事業

- ➢首都圏における生コンクリートの数量増による骨材需要の増加
- ➢適正な骨材販売価格の実現への取り組み

セグメント別事業概要

◇環境事業

- ➢処理単価アップへの取り組み
- ➢シンセイ栃木の稼働本格化

◇生コンクリート事業

- ➢堅調な需要による販売数量の増加
- ➢適正売価の確保への取り組み
- ➢原材料費や輸送費の上昇

セグメント別事業概要

◇不動産事業

- ➢太陽光発電事業への参入
- ➢既存事業継続による安定収益の確保

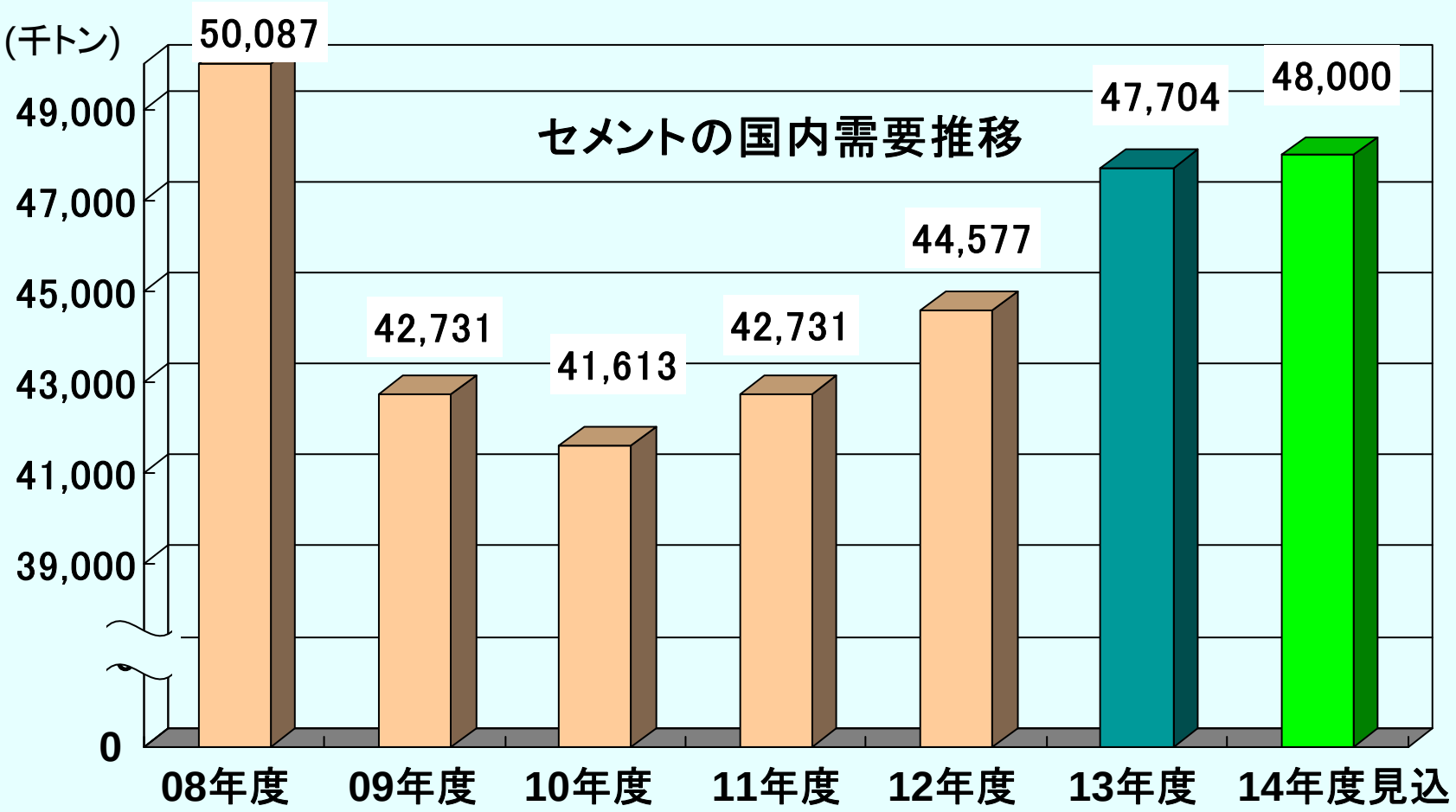
◇住生活事業

- ➢拡販による販売数量の増加
- ➢商品管理の徹底による収益確保

2013年度決算及び2014年度見込

廃プラスチック破砕設備

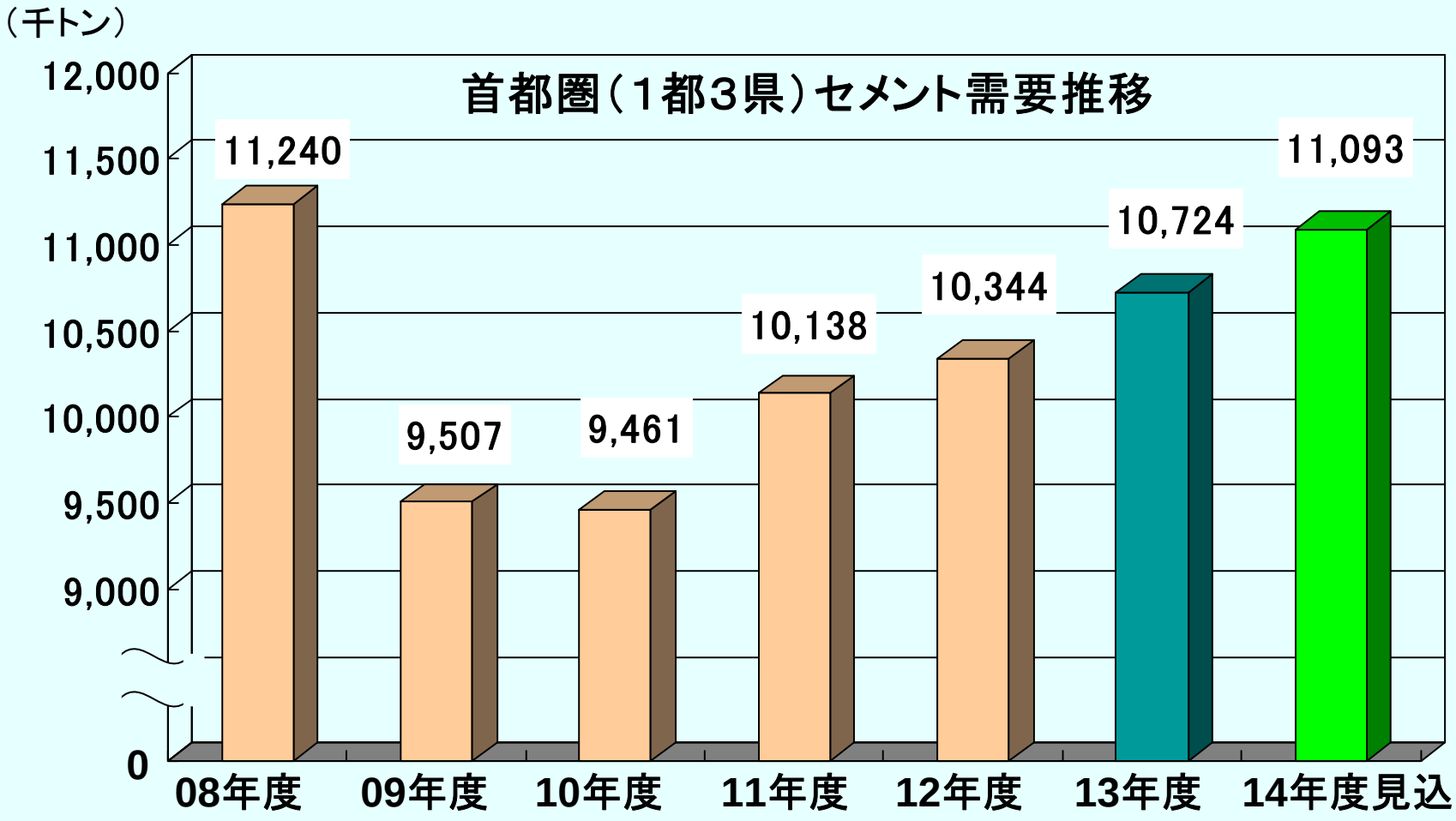
セメント関連事業



※国内需要ピーク:1990年度　86,286千トン

（参考）セメント協会資料

セメント関連事業



（参考）セメント協会資料

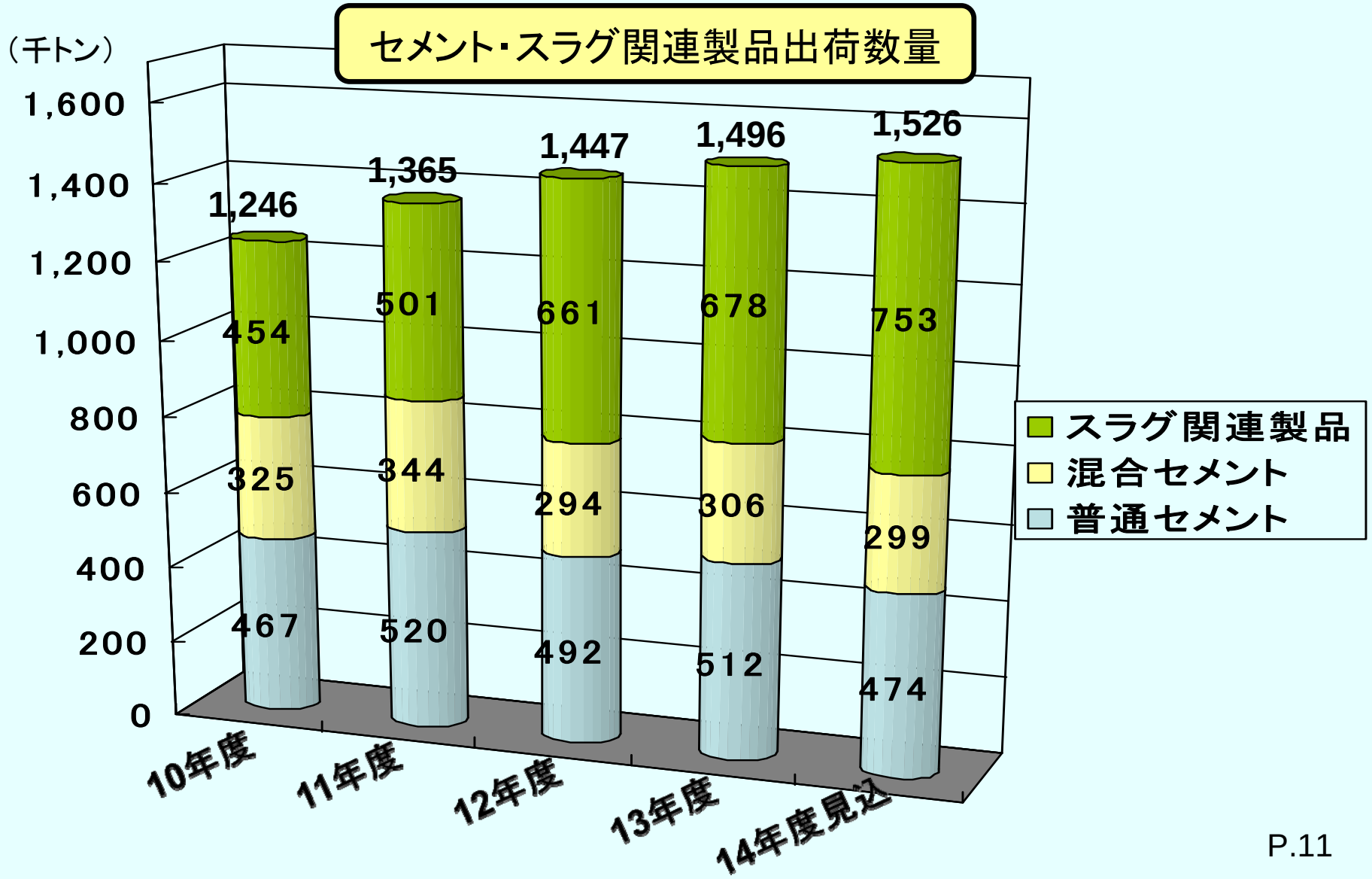
セメント関連事業

◇製造原価低減の継続的取り組み

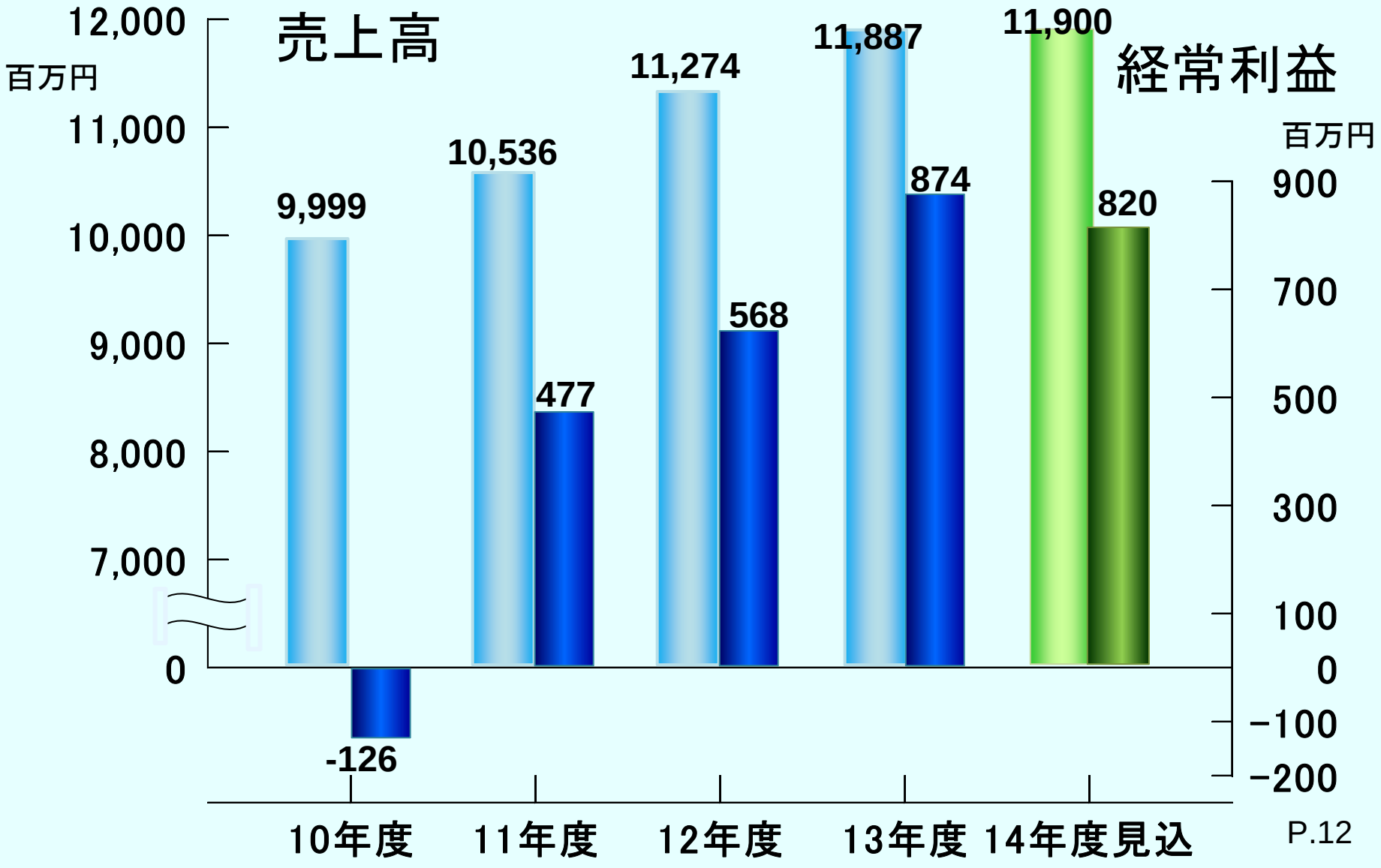
◇スラグ混合関連製品への
軸足移行推進

- 混合設備増設による多様なニーズへの対応
- 低炭素社会形成への貢献

セメント関連事業


セメント・スラグ関連製品出荷数量
（千トン）
1,600
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
1,246
1,365
1,447
1,496
1,526
454
501
661
678
753
325
344
294
306
299
467
520
492
512
474
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込
スラグ関連製品
混合セメント
普通セメント

セメント関連事業

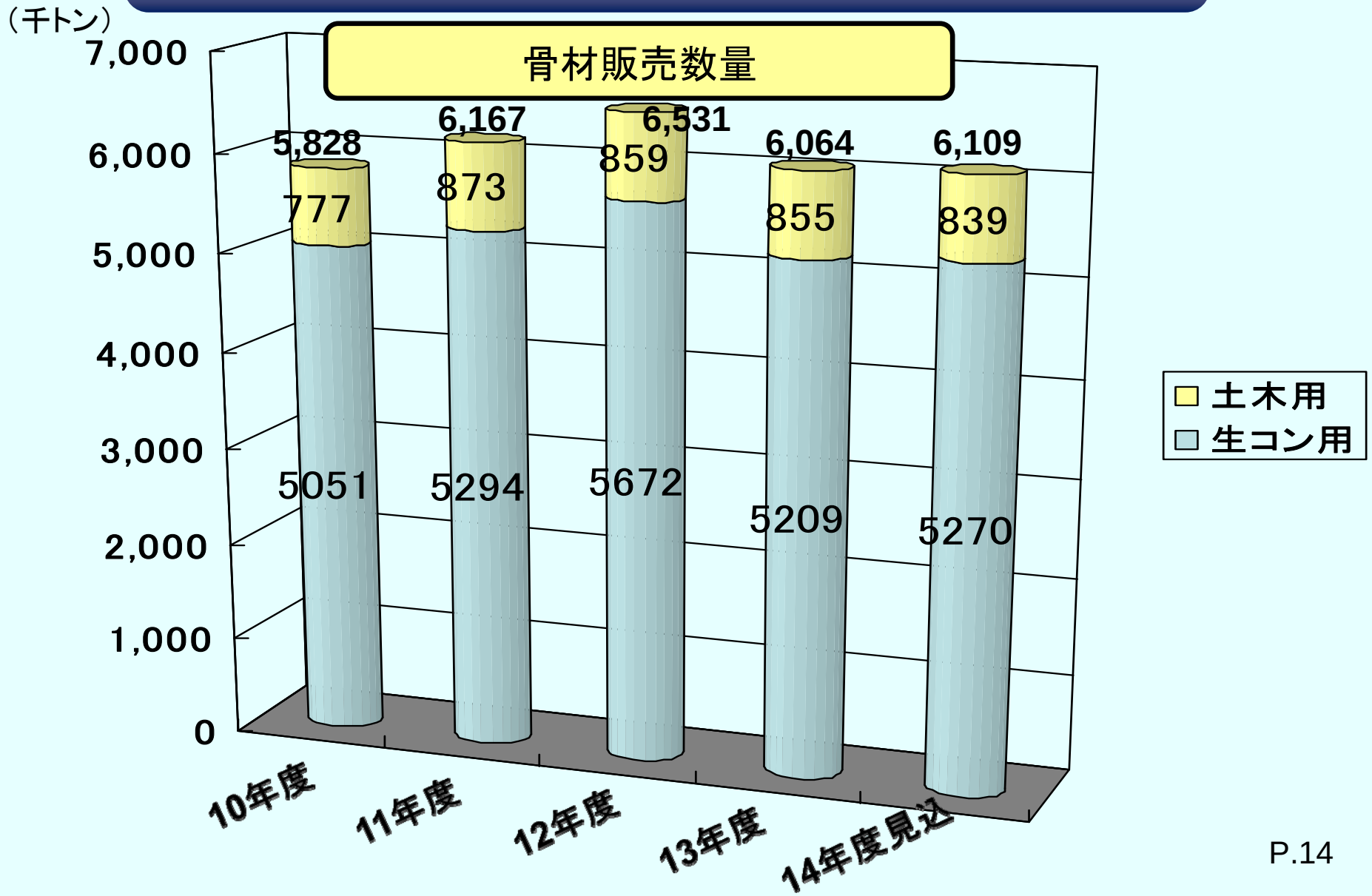

売上高
経常利益
百万円
百万円
12,000
11,000
10,000
9,000
8,000
7,000
0
900
700
500
300
100
0
−100
−200
9,999
-126
10,536
477
11,274
568
11,887
874
11,900
820
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込

資源事業

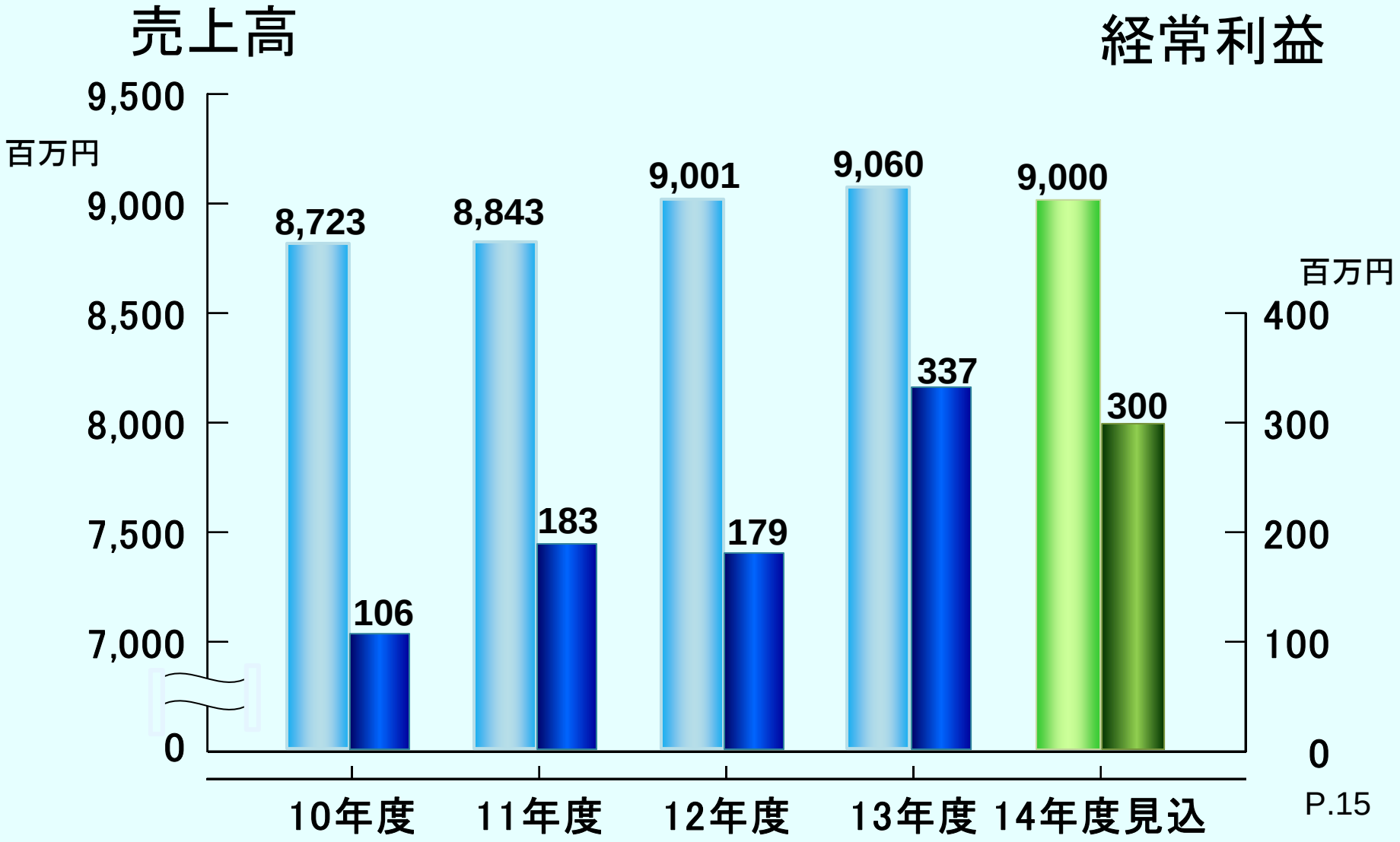
◇安定供給体制構築のための
適正販売価格の確保

◇国見山資源㈱生産品の活用

資源事業


骨材販売数量
（千トン）
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
5,828
6,167
6,531
6,064
6,109
777
873
859
855
839
5051
5294
5672
5209
5270
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込
土木用
生コン用

資源事業


売上高
経常利益
百万円
9,500
9,000
8,500
8,000
7,500
7,000
0
百万円
400
300
200
100
0
8,723
106
8,843
183
9,001
179
9,060
337
9,000
300
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込

環境事業

◇建設発生土・廃プラスチックなど
産業廃棄物事業の維持拡大

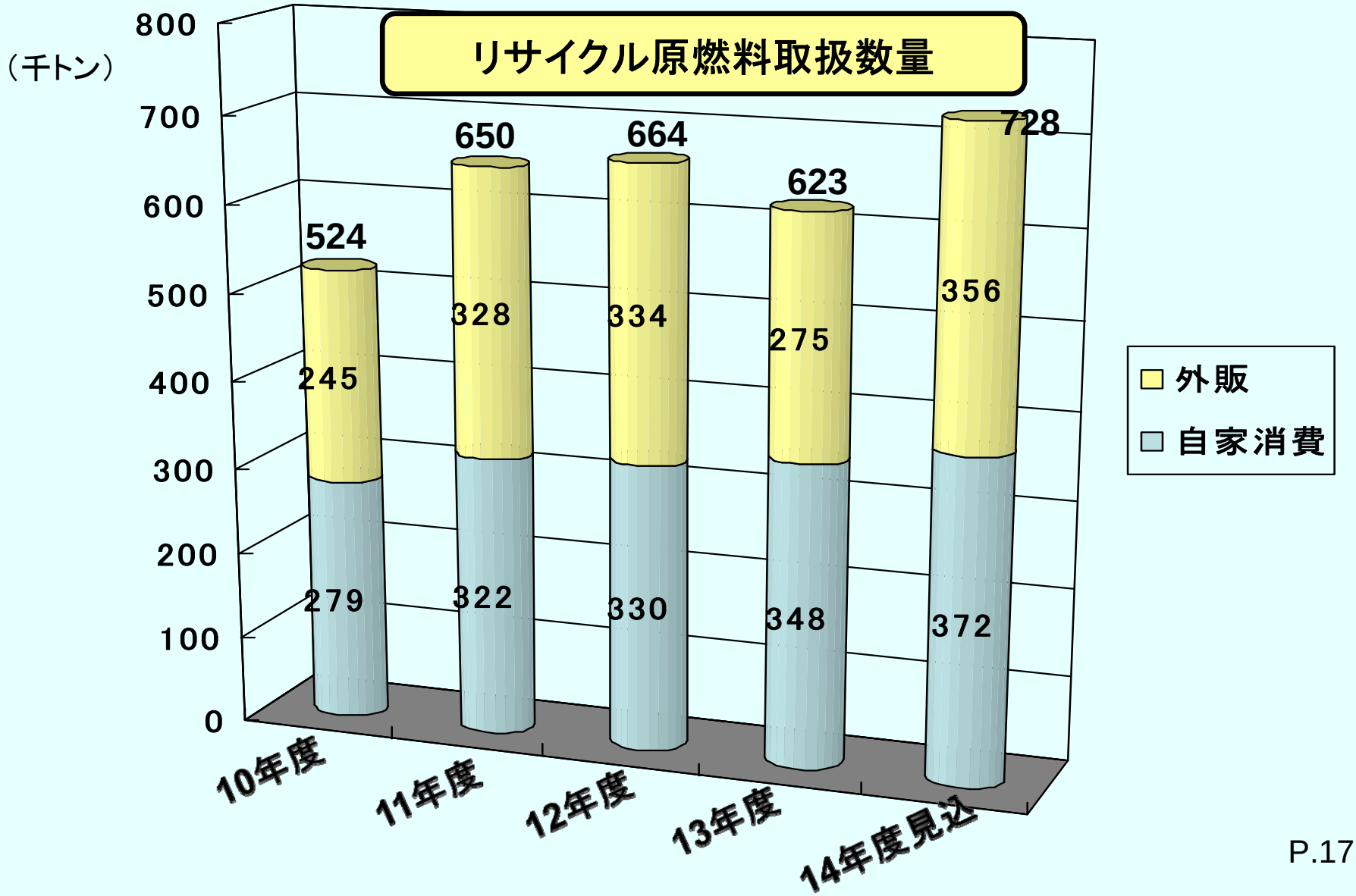
➢川崎工場以外の安定供給先の確保

◇事業領域拡大への積極的取り組み

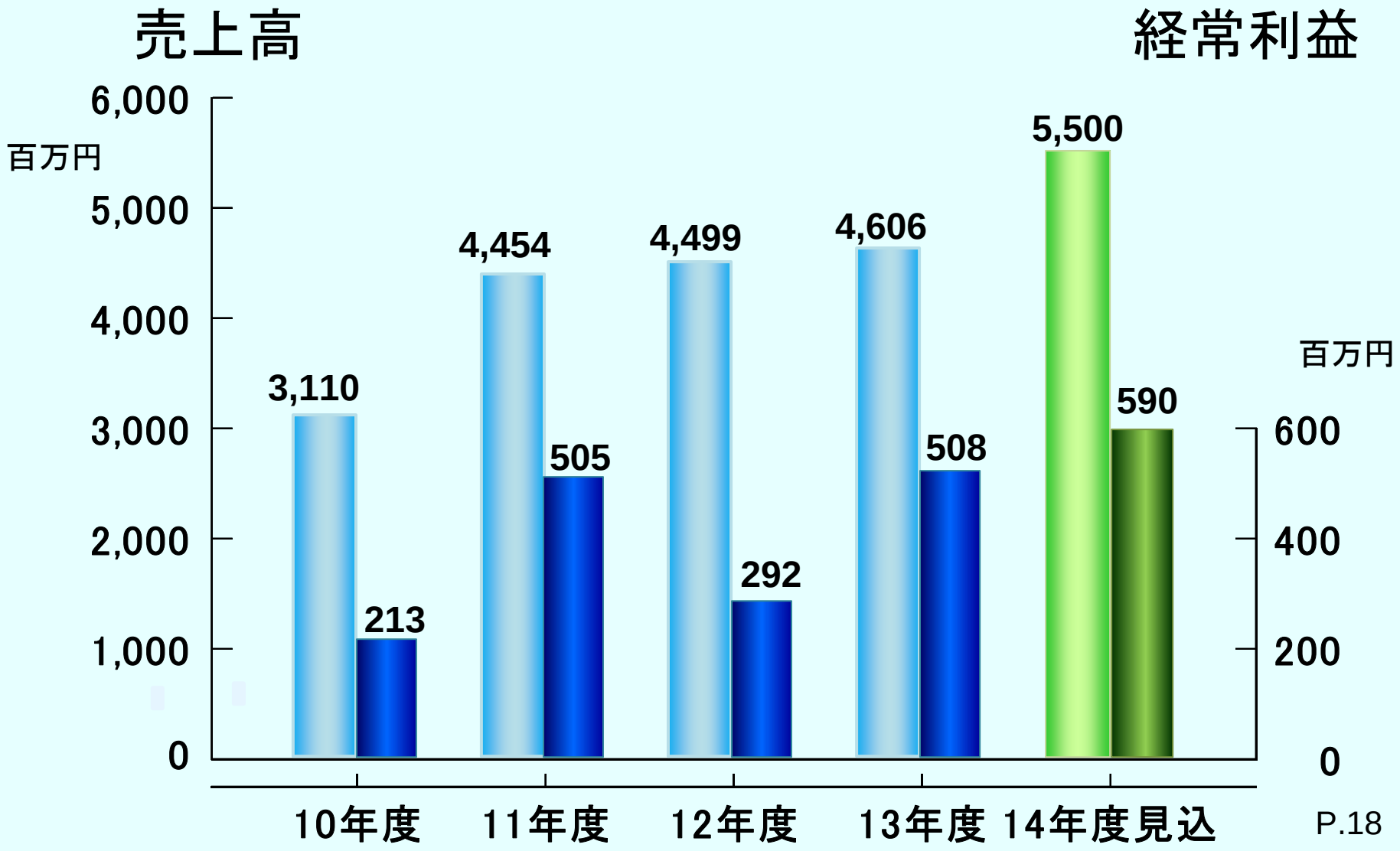
➢シンセイ栃木の中間処理事業の継続

➢R3（建設発生土改質材）の拡販

環境事業


リサイクル原燃料取扱数量
（千トン）
800
700
600
500
400
300
200
100
0
524
650
664
623
728
245
328
334
275
356
279
322
330
348
372
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込
外販
自家消費

環境事業


売上高
経常利益
百万円
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
3,110
213
4,454
505
4,499
292
4,606
508
5,500
590
百万円
600
400
200
0
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込

生コンクリート事業

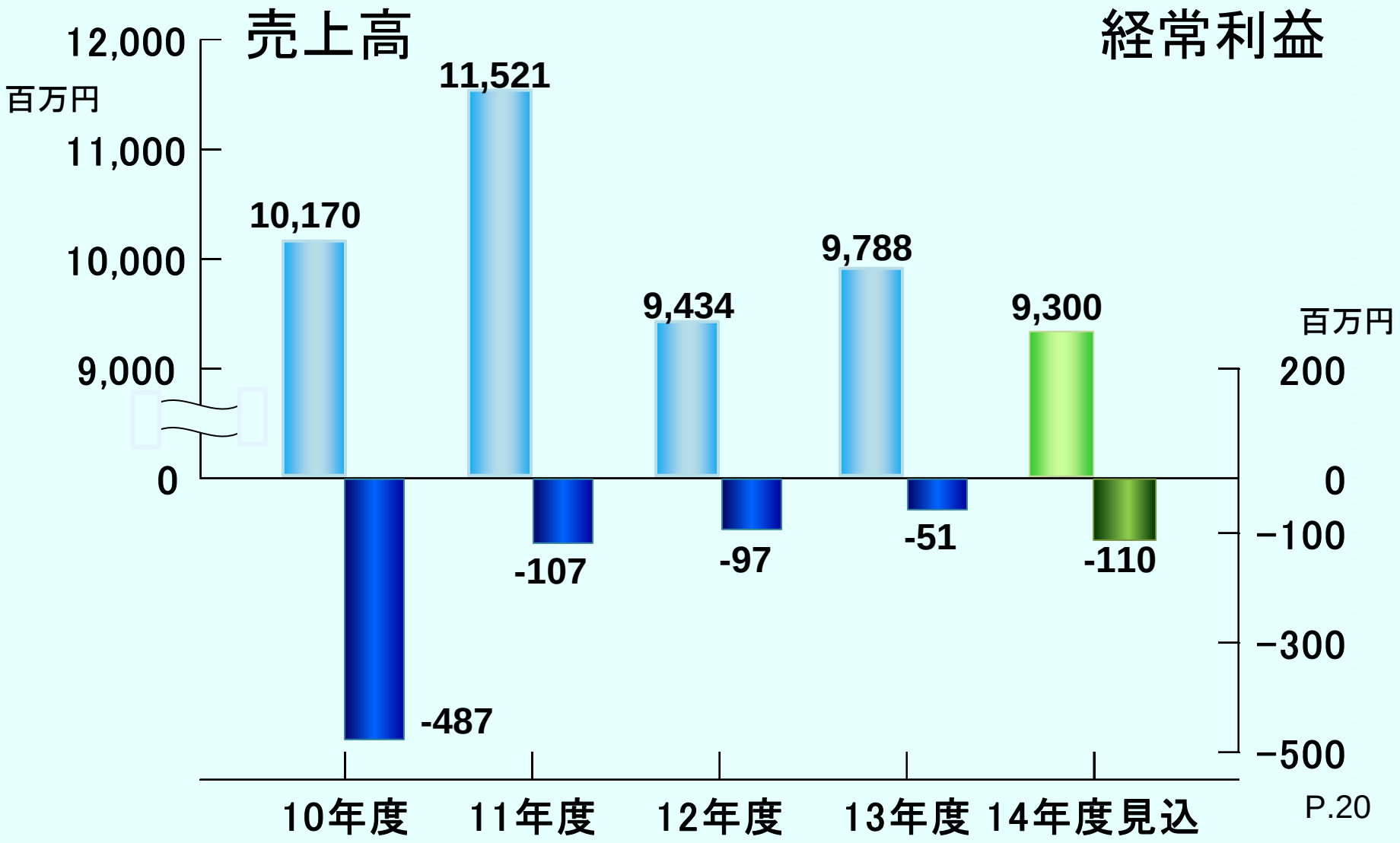
◇赤字体質の改善

- ➢生コンクリート業界と協調し、適正売価の確保
- ➢原価低減への取り組み

◇顧客に信用、信頼
安心される企業グループ

- ➢安定供給体制の構築

生コンクリート事業

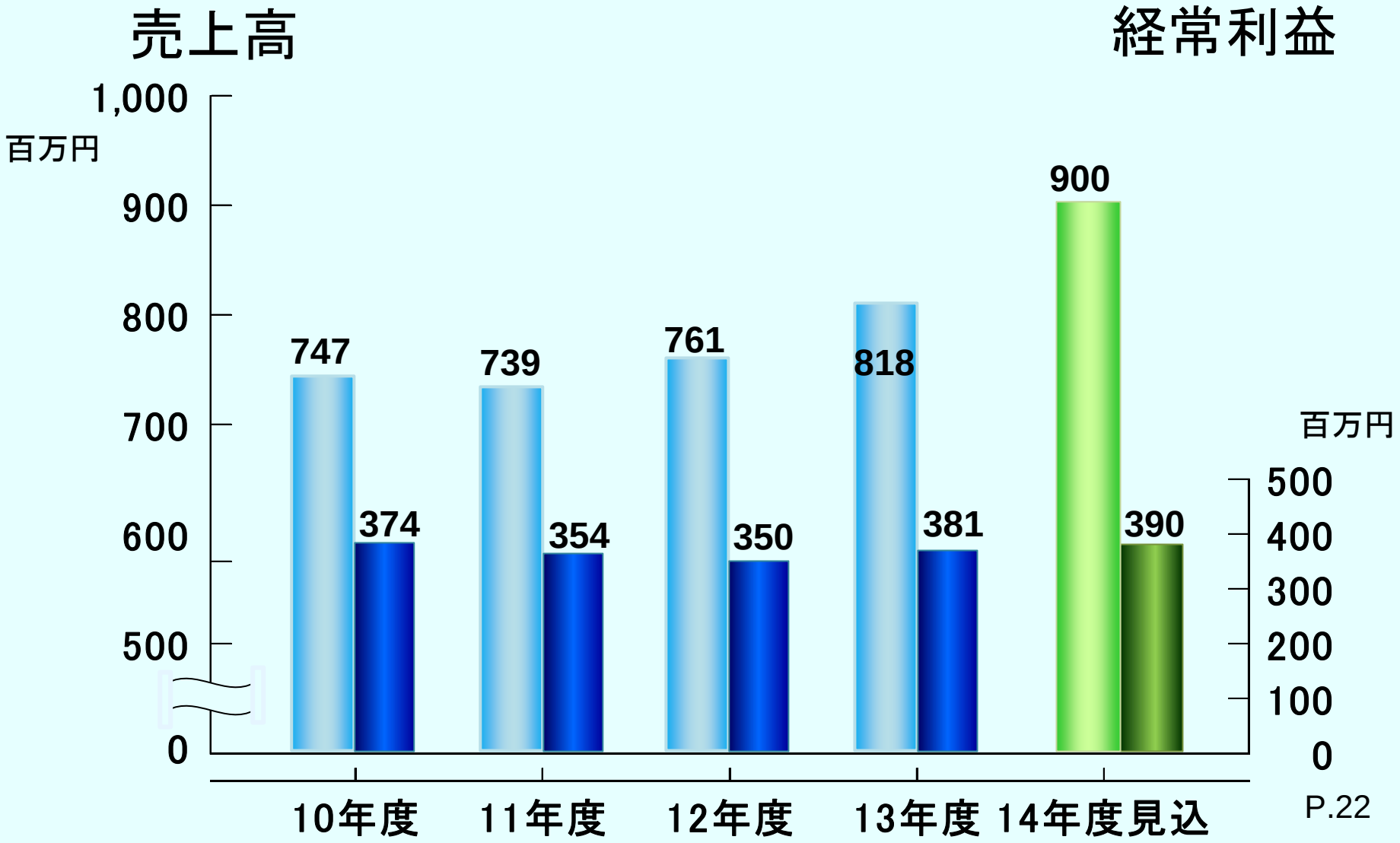

売上高
経常利益
百万円
12,000
11,000
10,000
9,000
0
10,170
11,521
9,434
9,788
9,300
-487
-107
-97
-51
-110
百万円
200
0
−100
−300
−500
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込

不動産事業

◇太陽光発電事業の拡大

◇賃貸物件の安定収益の確保

不動産事業

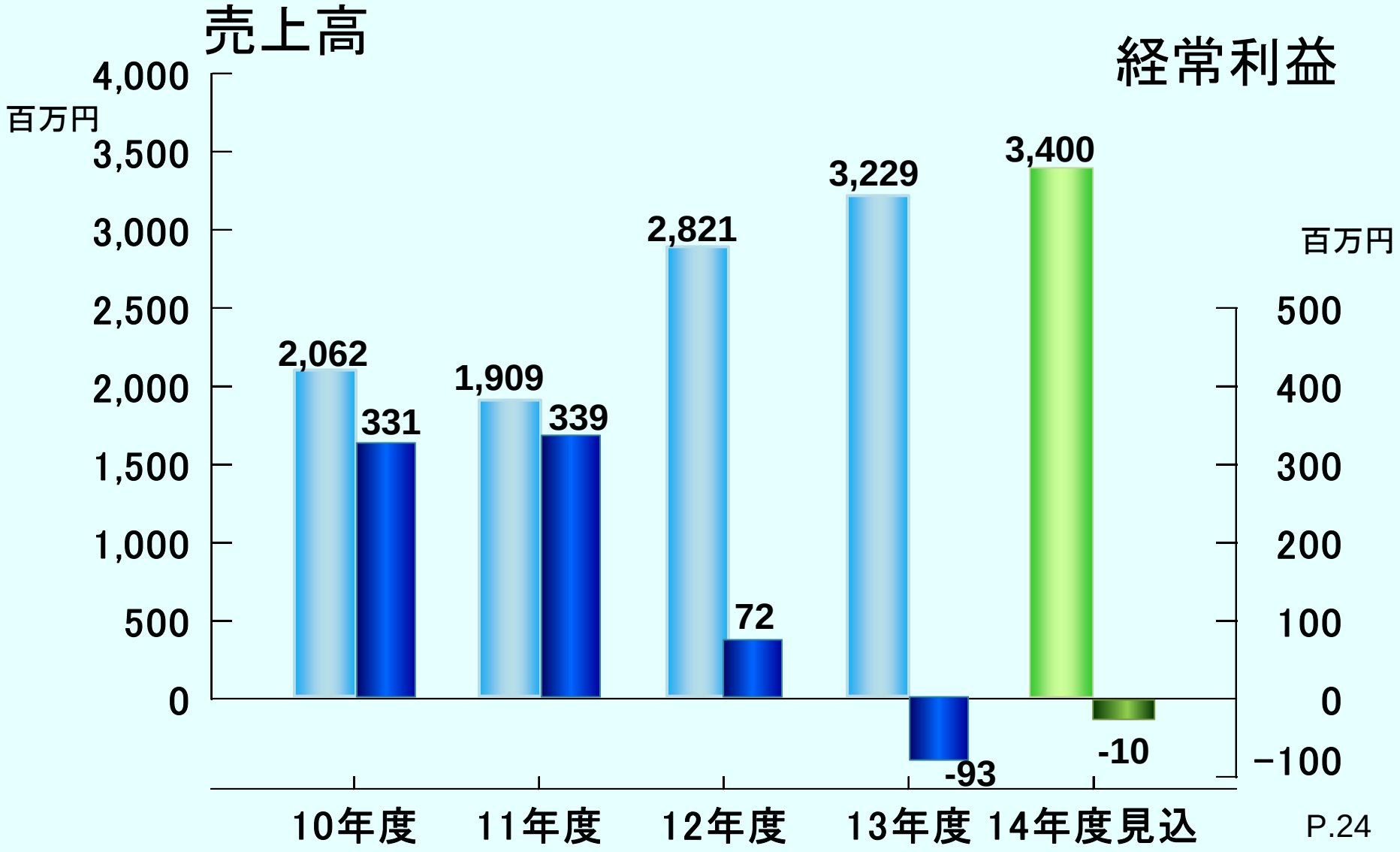

売上高
経常利益
1,000
百万円
900
800
700
600
500
0
747
374
739
354
761
350
818
381
900
390
百万円
500
400
300
200
100
0
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込

住生活事業

◇赤字体質の改善

- ➢ユーザーニーズへの積極的な対応による拡販
- ➢製造原価低減への取り組み
- ➢効率的な在庫管理の徹底

住生活事業


売上高
経常利益
百万円
4,000
3,500
3,000
2,500
2,000
1,500
1,000
500
0
百万円
500
400
300
200
100
0
−100
2,062
331
1,909
339
2,821
72
3,229
-93
3,400
-10
10年度
11年度
12年度
13年度
14年度見込

決算財務諸表

連結貸借対照表

≪資産の部≫

（単位：百万円）

	12年度	13年度	対12年度
現金及び預金	2,384	1,894	△490
受取債権	9,300	8,928	△372
棚卸資産	1,945	1,984	37
その他	534	518	△12
流動資産計	14,165	13,326	△839
有形固定資産	21,383	21,457	74
無形固定資産	2,315	2,093	△222
投資その他資産	5,193	5,452	259
固定資産計	28,892	29,003	111
資産合計	43,057	42,329	△728

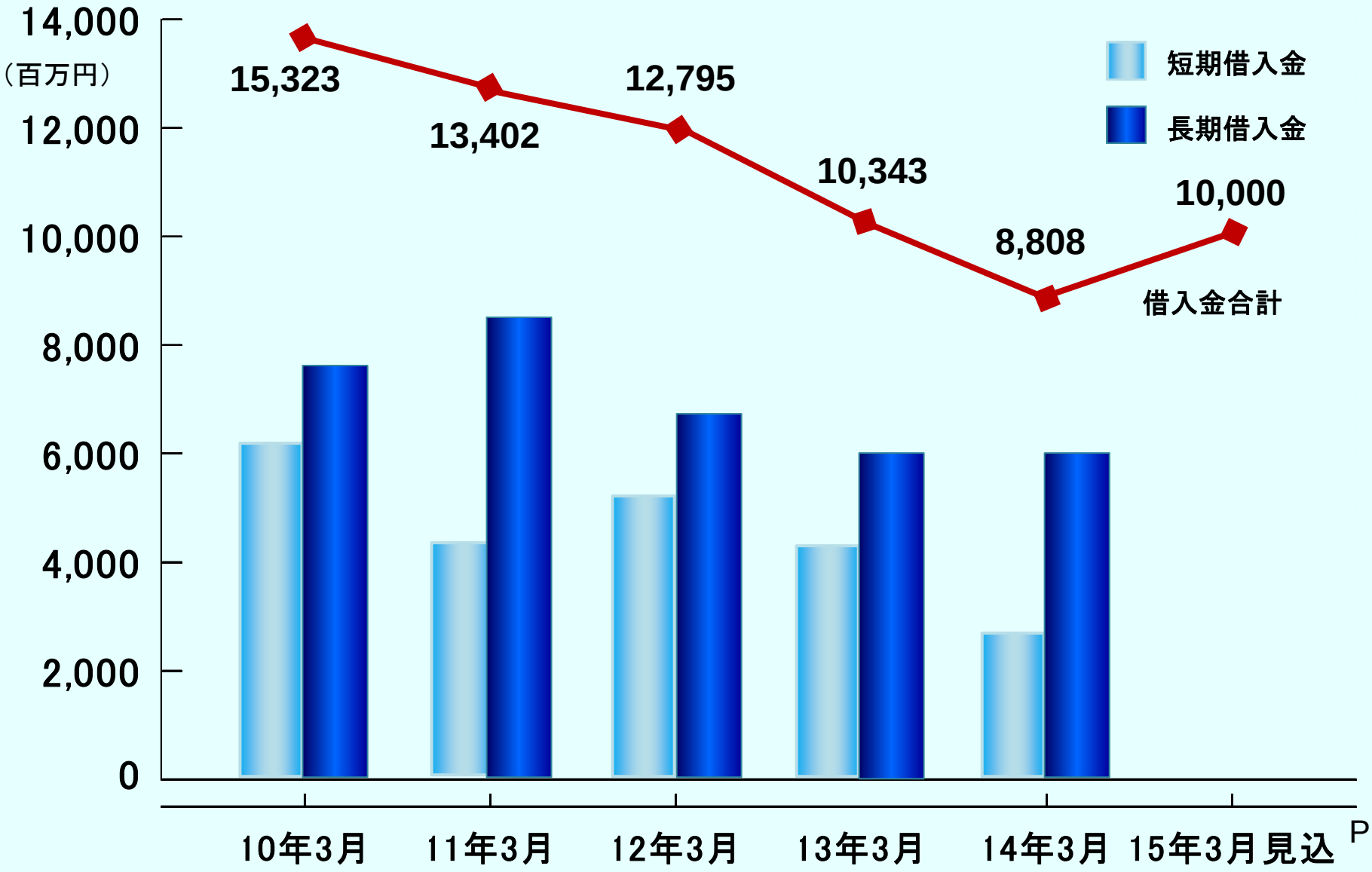
連結貸借対照表

≪負債及び純資産の部≫

（単位：百万円）

	12年度	13年度	対12年度
支払債務	5,724	5,196	△528
短期借入金	7,374	4,244	△3,130
長期借入金	2,969	4,564	1,595
その他流動固定負債	8,048	8,199	151
負債計	24,117	22,203	△1,914
株主資本計	18,815	19,929	1,114
非支配持分	124	196	72
純資産計	18,940	20,126	1,186
負債・純資産合計	43,057	42,329	△728

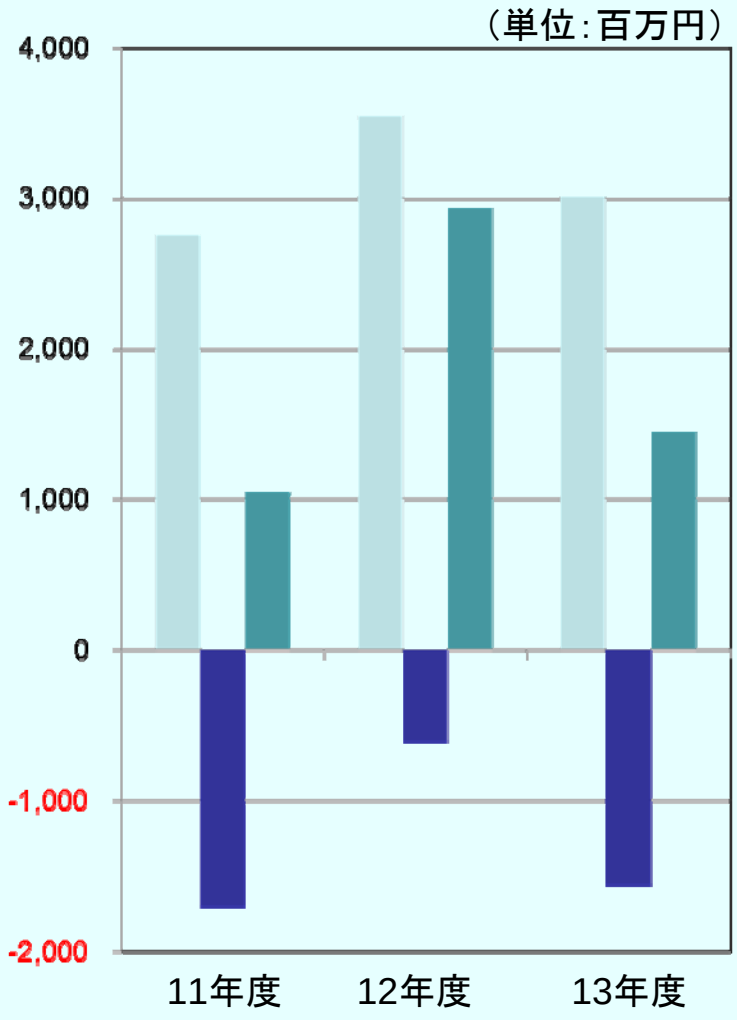
有利子負債残高推移


14,000
（百万円）
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
15,323
13,402
12,795
10,343
8,808
10,000
短期借入金
長期借入金
借入金合計
10年3月
11年3月
12年3月
13年3月
14年3月
15年3月見込

キャッシュ・フロー

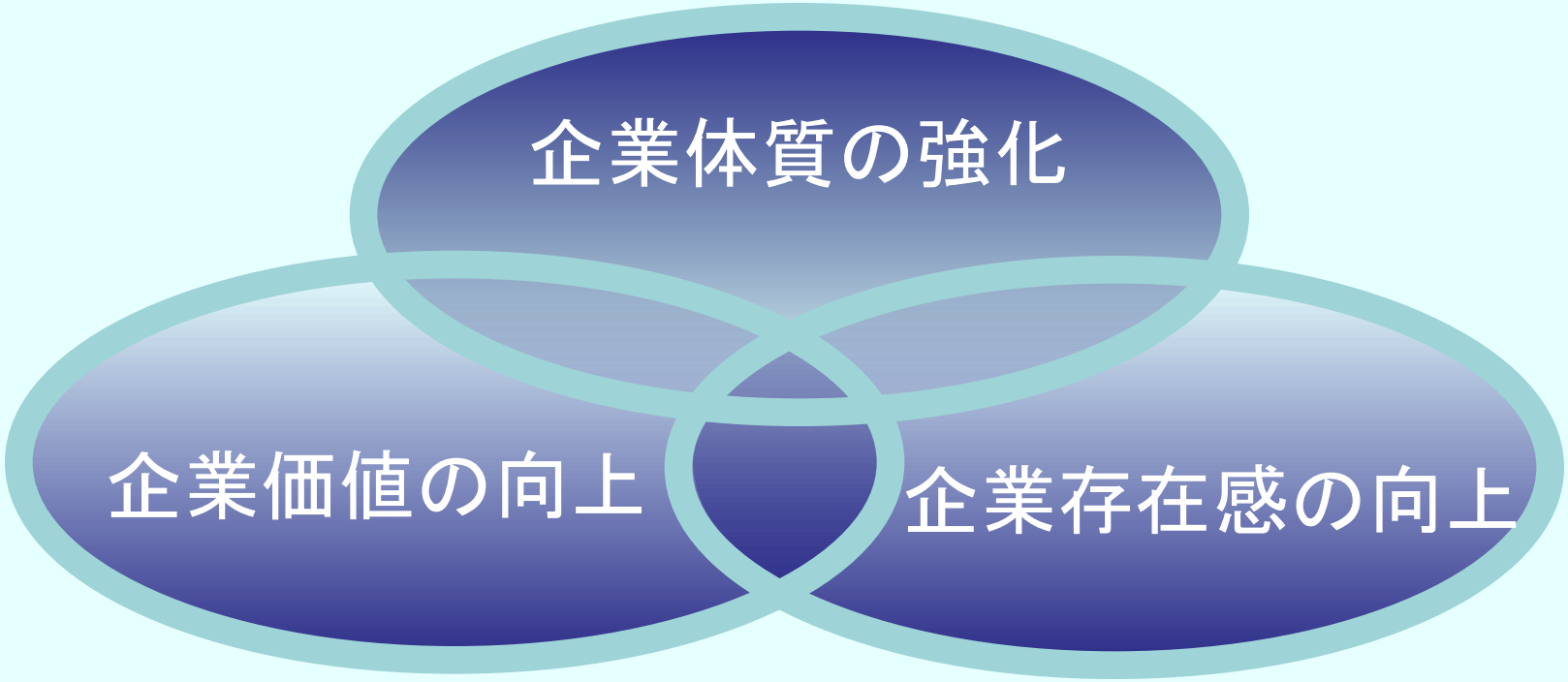
（単位：百万円）

	12年度	13年度	増減
当期純利益	1,666	1,854	188
減価償却費	2,102	1,942	△160
売上債権増減（△は増）	481	353	△128
仕入債務増減（△は減）	△187	△562	△375
その他	△515	△578	△63
営業活動によるCF	3,547	3,009	△538
有形・無形固定の取得	△967	△1,772	△805
有形・無形固定の売却	68	89	21
事業譲渡による収入	269	—	△269
その他	18	121	103
投資活動によるCF	△610	△1,562	△952
フリーキャッシュ・フロー	2,937	1,447	△1,490



2014年度の展望と今後の取り組み

15中計≪FOR NEXT STAGE≫
重点テーマ



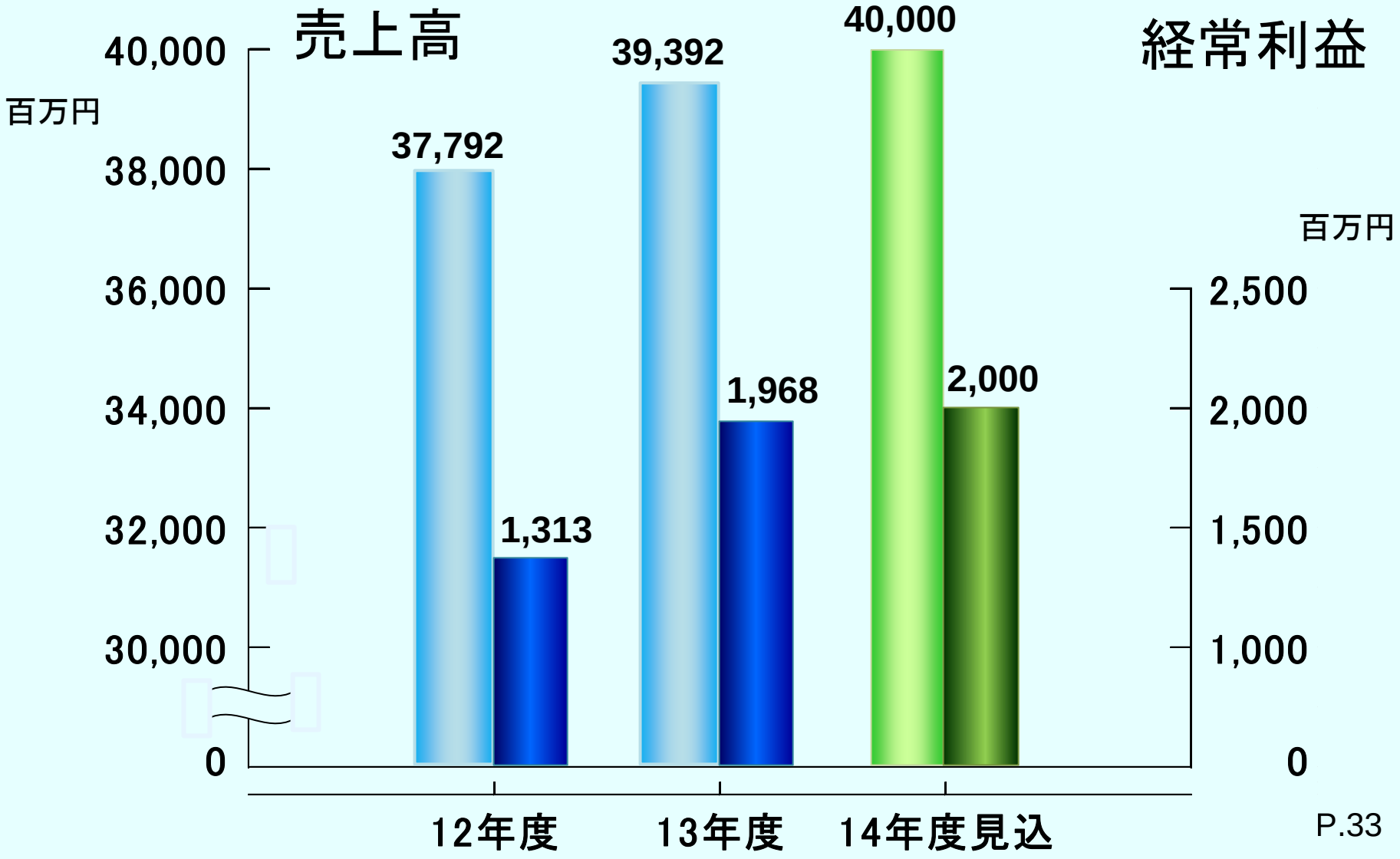
基本戦略

◇既存事業の骨太化

◇新規事業の立上げ・育成

◇成長戦略の実行と
財務体質の改善

2014年度連結業績予想



グループを取り巻く環境

◇ 2020年 東京オリンピック・
パラリンピック開催

◇ 社会インフラ整備の必要性

グループを取り巻く環境

◇当面は堅調だが、その後の反動も想定

◇財務体質は、筋肉質となった

◇今後は成長戦略を実行

既存事業の骨太化

セメント関連事業

◇天然ガスによる自家発電

➢昼間時ピークカット

◇排ガス利用で廃棄物の乾燥燃料化

➢石炭使用量を削減

資源事業

国見山資源㈱が軌道に
ユーザーへの安定供給体制構築

国見山資源㈱プラント

環境事業

廃プラ置場へ転用し、石炭代替率の向上

建設発生土置場（川崎工場）

新規事業の立上げ･育成

太陽光発電事業への参入

那須町太陽光発電所

太陽光発電事業への参入

- 14年1月 那須町発電所稼働
- 14年7月 東金発電所稼働予定
- 15年3月 川崎工場発電設備稼働予定

不動産事業の活性化

- ◇ 既存不動産のリニューアル
- ◇ 資産の置換による事業拡大

海外事業展開

１４年４月
ジャカルタ駐在員事務所開設

ジャカルタ駐在員事務所

インドネシアでの事業展開

◇ 当社の持つ技術やノウハウを活用

- 地盤改良事業
- 住生活事業
- 資源事業
- アグリカルチャー事業

成長戦略と財務体質改善の両立

15中計≪FOR NEXT STAGE≫

目標達成に向けた重要な年

本資料に関するお問い合わせ

株式会社デイ･シイ　管理本部　経理部
TEL　044-223-4752
FAX　044-223-4750
E-mail　information@dccorp.jp